しんぶん　つむぐ

『紡ぐ』

２０２３.10.15　第68号
発　行　教育相談室「あした塾」　発行責任者　滝井元之
連絡先　927-0014　石川県鳳珠郡穴水町梶リの１９７
☎・📠　0768-56-1152　（自宅☎　0768-56-1151）

8月26日

ローエル祭が行われました

（写真は鈴木久善さん提供）

明治時代、アメリカの天文学者パーシバル・ローエルが穴水町を訪れています。著書「NOTO」の中で穴水町を紹介していて、ボラ待ちやぐらを「怪鳥ロックの巣のようだ」と表現しています。そのローエルをたたえるのが「ローエル祭」です。今年が40回目で、コロナ禍の中歌えなかった「ローエル賛歌」の合唱も復活しました。カモ・ローエルの明かりも商店街を照らしました。

トキ「能里」の看板設置

「能登トキファンクラブ」（宮下源一郎会長）は10月3日、乙ケ崎地区のビオトープに、本州最後のトキ「能里」が捕獲されたことを示す看板を設置しました。集まった会員はビオトープ周辺の草刈りなども行い、トキ談議のひとときを過ごしました。池にはたくさんの昆虫などが集まってきていました。

遠藤9勝

9月場所、穴水町出身の遠藤は3連敗スタート。心配しましたが、その後、持ち直して9勝6敗の勝ち越し。良かったですね。2場所連続の勝ち越しでした。

千秋楽、琴勝峰を切り返しで破る。（北國新聞より）

投稿

金沢市　沢田穣さん

海よりも
空青き日や
曼珠沙華

木の実降る昔むかしの通学路

お詫びと訂正

「紡ぐ」第67号の「監査委員」の関する記事の中で、「議選監査委員が17年以上も一人の議員が…」としてありましたが、現監査委員は今10年目で、それ以前は別の議員が務めていた（議会事務局）とのことでした。「紡ぐ」が確認をとった方の記憶ちがいだったようです。確認不足でした。誤りをお詫びして訂正いたします。（編集部）

ちょっとした冒険

穴水再発見の旅

諸橋探訪

11月17日(金)

穴水町明千寺にある
かんがい用水路（マンボ）

教育相談室「あした塾」は昨年から〝穴水再発見の旅〟を実施してきています。私たちの住む穴水町の埋もれたり、忘れられたりしている宝（文化財や遺跡、伝統文化など）を発掘し、光を当てることで、これからの穴水町に生かすことを願っての取り組みです。

マンボ探険

今回の〝旅〟は諸橋地内に焦点を当てました。1つは明千寺の「かんがい用水路」のマンボです。明千寺はかつては荒れ地で、農作物の栽培に適さない地域でしたが、明治時代に、北出丑松が二子山から水を引くための用水路を3年がかりで建設し、4.5ヘクタールの新田開発に成功しました。マンボとは農業用の地下水路（トンネル）のことです。そのマンボを通ってみようと思います。一番長いマンボは約160mあります。この貴重な遺跡は今も生かされています。明千寺の星野清一さんに案内してもらいます。ちょっとした冒険になります。

諸橋稲荷神社と
「あわ吹きの面」です

諸橋稲荷神社（太夫の森と能面）

もう1つは前波の、能太夫諸橋権之進の居住地と伝えられている太夫の森を訪れ、今は金沢の尾山神社に納められている「あわ吹きの面」や穴水町歴史民俗資料館に展示されている「尉面、女面、せく面」のいい伝えなどに触れていきます。前波の村上嘉蔵さんに案内してもらいます。「資料館」では岡本伊佐夫さんからお話を聴く予定です。

参加申し込みは

教育相談室「あした塾」まで電話でお願いします。

10月31日までに!!

沖波十三塚の石柱
（海石）

沖波十三塚の謎に迫る

以前、ツアーで巡った沖波十三塚には謎が残されたままです。十三塚は室町時代、この地方の弥勒信仰を示す重要遺跡であることがわかっていますが、2基が破壊され、現在は11基です。そのうちの写真の海石が謎なのです。梵字が刻印されており、はじめからあったものかどうかが…

教育相談室「あした塾」（鹿井）
0768-56-1152.（1151）

「旅」ルート　住吉公民館→沖波十三塚→太夫の森と弁天島
→明千寺かんがい用水路→能登ワイン→資料館